



> 美し国づくり景観大賞とは？

> 第1回エントリー団体を見る

> 第1回受賞団体を見る

> 第2回景観大賞

美し国づくり

景観大賞



NPO法人美し国づくり協会創立10周年記念事業



「美し国づくり景観大賞」を設立

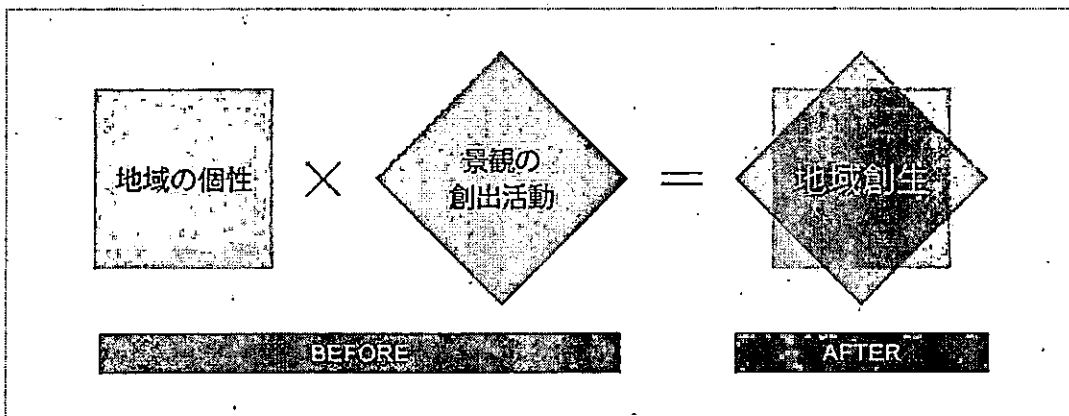
「美し国」への基本は、その土地の自然風土を生かした「地域性」(Regionality, Locality)と、建築物のみならず道路河川公園など多彩な景観要素と市民のくらしがひとつに融合した「全体性・総合性」(Totality, Total landscape)にある。加えて、自然と調和し共生しながら景観を創り育ててきた人々の長年にわたる努力が不可欠である。景観法(2004年)を契機として、それまで各地で地域課題の解決のためにも自主的にすすめられてきた緑豊かで美しい地域づくりは、全国的かつ本格的な展開をみせている。私ども「美し国づくり協会」は、こうした国民的運動を専門家の立場から、なおかつ市民的視点をふまえて、我が国独自の景観政策・景観計画・景観技術・景観教育・景観運動などを多面的に支援し、『美し国・日本』の実現をめざそうと、2004年特定非営利活動法人を創設した。これまで毎年、全国各地で景観意識の深化や啓発のためのシンポジウムを、また数点の編著も刊行してきた。2014年、10周年を記念して他の景観賞とはちがって国土的スケールの「美し国づくり景観大賞」を創設し、地域性・総合性・継続性の点で21世紀日本の景観づくりの方向性を示唆する優れた取り組み、活動や運



動を評価し、その成果や思想と方法を顕彰するとともに、全国の景観行政団体や景観改善活動など行
 美し国づくり景観大賞とは？ > 第1回エントリー団体を見る > 第1回受賞団体を見る > 第2回景観大賞
 政、市民、企業、専門家、諸団体に普及することとした。

事業概要

美し国づくり景観大賞は、地域の個性を活かした良好な景観の創出、地域創生に寄与し、これを後世に引き継ぐ活動を行っている優良事例をビフォー・アフターに主眼を置いて選定し、その活動に取り組んでいる関係者を顕彰し、併せて受賞者を中心にシンポジウムを開催し、その概要等を出版物に纏め、美し国づくりの実践活動として広く全国に紹介し、世界に誇れる美し国づくりの理念の普及啓発と実践行動の推進を図ることを目的としています。



大賞受賞作品は広く人々の目に触れるよう、「美し国づくり協会」がプロモーションを致します。

例えば、適宜ホームページや協力メディアで「会員コメントを付記して」紹介。また、「大賞・特別賞の紹介」に加えて「シンポジウム内容」などを編集し、広く公開すると共に数年おきに書籍化・出版し、受賞対象者等に寄贈することも予定しております。

美し国づくり景観大賞へエントリーする

後援

■後援

国土交通省

(一社) 日本建築学会

(公社) 土木学会

(公社) 日本都市計画学会



美し国づくり景観大賞とは?
(公社) 公共建築協会

> 第1回エントリー団体を見る

(公社) 日本建築士会連合会
> 第1回受賞団体を見る
(一社) 建設コンサルタンツ協会

> 第2回景観大賞

(公社) 日本建築家協会

(一社) 日本公園緑地協会

(一財) 建設業振興基金

(一財) 都市農地活用支援セン

(公財) リバーフロント研究所

ター

(特定非営利法人) シビルNPO連携プラットフォーム

お問合せ

■問い合わせ先

本件に関する問い合わせは、特定非営利活動法人美し国づくり協会・景観大賞係へメールでお願いします。

【メールアドレス】

info@umashi-kuni.com

■美し国づくり景観大賞 ロゴ・WEBプロデュース・作製

(株) design project Qwouk Inc.



[トップページへ](#)

[美し国づくり景観大賞とは?](#)

[第1回エントリー団体を見る](#)

[大賞受賞団体を見る](#)

[第2回景観大賞へエントリーする](#)

[美し国づくり協会WEBサイトへ](#)

[後援団体ご紹介](#)

[お問合せ](#)

【主催】 特定非営利活動法人 美し国づくり協会

Copyright (C) 美し国づくり協会 &

design project Qwouk Inc.

All Rights Reserved.

「美し国づくり景観大賞」を選定

美し国づくり景観大賞は、景観づくりの取組・活動のビフォー・アフターの成果、取組・活動内容の総合性、取組規模の広がり、取組期間の継続性、地域の特性を生かした地域性、取組の独自性・先駆性などを総合的な観点から評価し、21世紀の日本の景観づくりの方向性を示唆する優れた取組・活動を顕彰することに重点を置いている。

第2回目を迎えた今回は、応募作品は4作品と少なかったが、応募主体は自治体、公益法人、NPO法人、民間企業などで、単体又は連名によるものと多彩であり、多様な主体による景観づくりが進展しつつあることを示唆するものであった。

また、応募作品は、歴史的資産と一体となった緑地保全、廃屋や老朽建築物敷地の再生、歴史的建築物の改修再生、東日本大震災後の復興事業における広場整備など取組み内容が多彩で、継続期間は50年以上にわたる取組みから最近の取組みまでマチマチであるが、多くの関係者の参加・連携のもとに多彩な景観要素と市民の暮らしが融合した景観づくりが様々な場面で着実に広がりつつあることを実感することができた。

審査委員会では、1点ずつ丁寧な議論を行ったうえで、今後の美し国づくりの進展を図るうえで何が最も大切か総括討論がなされ、最終的に満場一致で「美し国づくり景観大賞」及び「特別賞」各1点の受賞作を決定した。

《美し国づくり景観大賞》

〈応募名〉 「肥前浜宿」における佐賀県遺産の保存活用に向けた取組
〈受賞団体〉 佐賀県・山口祥義佐賀県知事

〈審査評〉

佐賀県では、この10年間にわたって、「佐賀県美しい景観づくり条例」に基づき地域だけでは維持・保全が困難だった建造物等を佐賀県遺産として認定し、県が建造物の外観の改修や地区の活動を支援している。

肥前浜宿は、長崎との交易ルートである多良海道（多良往還）の宿場町として、全盛期には15の蔵元が軒を並べていたが、戦後、廃業が相次ぎ、また河川改修に伴い移転を余儀なくされ、歴史的な建物や町並みが失われつつあった。28年前、地域の人々の手によって、先人たちから伝えられた景観を地域の財産として再認識する取組が始まった。

この取組は、佐賀県遺産の認定を契機に、歴史的建物を修復しながらそれを環境づくりに活かす取組や地域の歴史文化性を生かした取組へと大きく発展し、街並みの環境整備などにより着実に景観の維持向上・再生が図られ、また景観づくりを機軸に様々な地域活動や観光客の誘致イベントも開催されるなど、総合的な取組・活動が展開されるに至っている。

多年にわたる取組みを通じて、取組内容の幅の広がりが見られる点は高く評価できる。とりわけ、生活、産業面からも地域創生の時代にふさわしい取組の進展や広がりが見られる点で大いに評価できる。

《特別賞》

〈応募名〉 鎌倉の聖域「御谷（おやつ）」の景観を守る

〈受賞団体〉 公益財団法人鎌倉風致保存会

〈審査評〉

昭和30年代後半の開発圧力が高かった鎌倉市で、鶴岡八幡宮の参道である段葛から見て背後となる山林「御谷」に宅地造成計画が持ち上がった。

その時に、鎌倉の象徴となる景観を守ろうと周辺住民や著名な文化人等が参加し「鎌倉風致保存会」が創設され、風致保存会が独自に市内69か所、850haを保存地域として指定した。

この活動を契機に、議員立法により古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法（古都保存法）が制定され、京都・奈良・鎌倉等のわが国を代表する歴史都市の歴史的風土の保存がなされるようになったこと、また市民や全国からの寄附金により日本初のナショナル・トラスト運動として風致保存会が御谷の宅地造成計画地を買取るに至ったことや今日の景観づくりの際に適用が当たり前となった眺望景観保全手法の確立がなされたことは、特筆に値する。

また約30年前から旧大佛次郎茶亭の保存、約20年前からは歴史的建物の活用調査や市民ボランティアによる山林の手入れが行われ、当初時の市民活動の精神を後世に引き継ぐ取組みが行われており、市民主体による取組みが長く続く工夫のもとに進められている点も高く評価したい。

■審査委員会

【委員長】

進士五十八・美し国づくり協会理事長、福井県立大学学長、東京農業大学名誉教授、日本造園学会元会長、日本都市計画学会元会長

【委員】

- 青山 俊樹・美し国づくり協会顧問・建設業技術者センター理事長
石井 弓夫・美し国づくり協会会員・土木学会元会長
小倉 善明・美し国づくり協会会員・日本建築家協会元会長
川村 健一・美し国づくり協会会員・広島経済大学教授
仙田 満・美し国づくり協会会員・東京工業大学名誉教授・建築学会元会長
高梨 雅明・美し国づくり協会会員・日本造園学会元副会長
立石 真・美し国づくり協会会員・日本建築センター前理事長
並河 良治・美し国づくり協会会員・土木研究所つくば中央研究所道路技術研究グループ長
春田 浩司・美し国づくり協会会員・公共建築協会会長
百武ひろ子・美し国づくり協会会員・県立広島大学大学院経営管理研究科教授、プロセスデザイン研究所所長
本間 利雄・美し国づくり協会会員・本間利雄設計事務所代表
森地 茂・美し国づくり協会会員・政策研究大学院大学教授・土木学会元会長
涌井 史郎・美し国づくり協会会員・東京都市大学教授

「美し国づくり景観大賞」表彰式・シンポジウム

開催のお知らせ

特定非営利活動法人美し国づくり協会は昨年、設立10周年を記念して「美し国づくり景観大賞」を創設しました。

第2回目を迎えた今回は、応募作品は4作品と少なかったものの、応募主体は自治体、公益法人、NPO法人、民間企業などで、単体又は連名によるものと多彩であり、多様な主体による景観づくりが進展しつつあることを示唆するものでした。

審査委員会では、1点ずつ丁寧な議論を行ったうえで、今後の美し国づくりの進展を図るうえで何が最も大切か総括討論がなされ、美し国づくり景観大賞に「『肥前浜宿』における佐賀県遺産の保存活用に向けた取組」、特別賞に「鎌倉の聖域『御谷(おやつ)』の景観を守る」を決定しました。

「美し国づくり景観大賞」及び「特別賞」の表彰式と受賞者による講演、当協会会員を交えたシンポジウムを6月22日、下記要領で開催します。
奮っての参加をお待ち申し上げます。

- 開催日時 平成28年6月22日午後3時(開場・受付は午後2時30分)
- 開催場所 文化シヤッターBIXホール(文京区西片1-17-3)

「美し国づくり景観大賞」および 「美し国づくり景観大賞・特別賞」の表彰式

受賞者記念講演

「肥前浜宿」における佐賀県遺産の保存活用に向けた取組

副島 良彦氏(佐賀県副知事)

中村 雄一郎氏(NPO法人肥前浜宿水とまちなみの会事務局長)

鎌倉の聖域「御谷(おやつ)」の景観を守る

兵藤 芳朗氏(公益財団法人鎌倉風致保存会理事長)

パネルディスカッション

パネリスト=受賞者各位、美し国づくり協会会員

進行=進士五十八氏

(NPO法人美し国づくり協会理事長)

入場無料

事前のお申し込みが必要です。

氏名、所属、電話番号を明記して、電子メール=info@umashi-kuni.com またはFAX 03-3233-1968 「美し国づくり協会・シンポ係」まで申し込みください。
(定員になり次第締め切ります)

▽ 懇親会
シンポジウム終了後(17時20分予定)、懇親会を開催します。
会費は3000円。参加希望者は、シンポジウムと同時に申し込みください。
会費は当日申し受けます。

- 主催 特定非営利活動法人 美し国づくり協会
- 後援 国土交通省 (一社)日本建築学会 (公社)土木学会 (公社)日本造園学会 (公社)日本都市計画学会 (一社)公共建築協会 (公社)日本建築士会連合会 (公社)日本建築家協会 (一社)建設コンサルタンツ協会 (一財)建設業振興基金 (一社)日本公園緑地協会 (公財)リバーフロント研究所 (一財)都市農地活用支援センター (特定非営利法人)シビルNPO連携プラットフォーム